研究分野	授業科目名	科目責任者
組織培養・免疫系分野	分子病態皮膚科学特論Ⅰ・Ⅲ	青山 裕美

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

（1）皮膚疾患の病態解析を行うにあたり，自分で最新の知見を得る。
（2）最新の知見をもとに，研究のデザイン，実行，データの解析，総括をアドバイスを得ながら遂行する。

授業到達目標

（1）研究を行う領域の一般的知識・最新の研究内容を原著論文などより把握し，詳細に説明できる。
（2）一般的な研究手技（PCR 法, RT-PCR 法, realtime PCR 法, ELISA 法，免疫染色, in situ hybridization 法，フローサイトメーター，共焦点レーザー顕微鏡，細胞培養, impression mold 法等）から必要な手技を自分で行い，解析できる。
（3）得られたデータをまとめ，研究検討会で的確にプレゼンテーションができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	水	16:00-17:00	青山 裕美	講義	[抄読会]	皮膚科学の基礎・臨床研究および病態解析に関する英文原著論文を紹介する。 [場所:本館棟５階皮膚科実験室]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1）１年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）１年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

紹介論文の要約について，添削して返却する。

教科書

ISBN-9784758120357, 基礎から学ぶ遺伝子工学, 田村　隆明, 羊土社, 2012

参考書

ISBN-9784895539692, アクセプトされる英語医学論文を書こう! ～ ワークショップ方式による英語の弱点克服法, ネル・L・ケネディ, MEDICAL VIEW, 2001

準備学習（予習・復習等）

（1）予習：紹介された論文について参考書に基づき，約２時間程度予習を行う。（論文を読む。論文内容をまとめた PPT を作成する）
（2）復習：論文中に記載されている実験技術のうち，未経験のものについては教科書で内容を確認しておくこと。さらに論文の書き方の要点を復習し，読んだ論文をアプリケーションで管理保存する。（0.5 時間程度）

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。

注意事項・メッセージ

代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。
英文論文の構築法を学び，研究結果を論文化するよう努力してください。